

市民の皆様、あけましておめでとうございます。

令和4年の輝かしい新春をすこやかに希望に満ちてお迎えになられたこと、また、久しぶりにふるさとへ帰郷され、御家族の皆様と和やかにお正月をお過ごしになられた方も多くいらっしゃると思います。謹んで皆様にお慶びを申し上げます。

皆様には、一昨年から続く新型コロナウイルス対策のため、不自由な生活を余儀なくされていること大変申し訳なく思っております。国内においては、昨年9月30日の緊急事態宣言の全面解除以降、感染者数も激減、市におきましても、昨年の10月15日以降感染は確認されておりません。ここまで落ち着いてきたことは、医療機関の皆様の御尽力によって82・8%に達しているワクチン接種や市民の皆様の感染対策の継続のおかげと、心から感謝申し上げます。新たな変異株の感染拡大に備え、あらためて、「油断をしない」「恐れない」という考えを皆様と共有し、引き続き、従来からの「マスクの着用、手洗いの徹底、3密の回避」などの感染対策の徹底と生活リズムを整え、きちんと食事をとって体力をつけていただきますよう重ねてお願いいたします。

さて、作家の林真理子さんや元カープの黒田博樹さんに年末、江田島市においていただき、講演会やトークショーを多くの市民の皆様に御参加いただき、開催することができました。お二人とも本市に来るのは初めてで、「美しく穏やかな海」と絶賛されました。

私たちの江田島市、本当にいいところです。温暖で穏やかな瀬戸内海の島。アクティビティに適しており、カヌーやSUPなどの海遊び、ハイキングなどの山遊び、サイクリングなどを市内外の皆さんが楽しんでいます。

全国トップクラスの生産量を誇る牡蠣を始めとした海産物、暖かな気候で育った柑橘や花き、最近ではオリーブ栽培も手掛けており、特産品が目白押しです。「生きた化石」カブトガニ、ハクセンシオマネキ、新種のエタジマホンヤドカリなど、海辺には貴重で多様な生き物がたくさん生息しています。

また、今から134年前（1888年）明治期に東京から移転設置された海軍兵学校は世界3大兵学校と称され、若い人の憧れを集めていました。戦後、昭和31年からは海上自衛隊の第1術科学校及び幹部候補生学校となっており、明治から昭和初期に建てられた歴史的建造物が現役の教育施設として活用されています。また、教育参考館には貴重な資料が展示され、無料の見学コースとして、年間5万人を受け入れていただいています。現在の平和で豊かな日本の国をつくってくれた先人の思いを知ることができ、あらためて私たちの次の世代に平和な日本の国を引き継いでいかねばならないことを教えてくれる誇りの施設があります。

また、三高山砲台跡など、近くて遠い時代の残り香を感じる遺構や資料が市内各地に存在しています。

そして忘れてはならないのが、世界遺産厳島に沈む夕陽。三高山を始め市内から望む厳島を私たちは「女神の寝姿」と呼び、この景色は時間を忘れるほどの美しさです。それでいて、政令指定都市である広島市、中核市である呉市に航路で約30分の距離に隣接し、陸路でも

つながっているため、都市機能を享受しつつ島暮らしができる贅沢な環境にあります。

このように、いいところが多くある本市ではありますが、人口減少が最大の課題であります。2020（令和2）年10月1日時点の外国人を含む国勢調査の人口は21930人。前回の国勢調査人口24339人に比べ2409人の減、平均して年間482人の減となっています。また、23年後の2045年、市の総人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計では、1万1千人にまで減少するとされています。

人口は活力の源と言われます。人口が減少すると、税収が落ちて市でできることが少なくなります。買い物をするお客様が減るので事業経営が厳しく雇用も減ることになります。認定こども園、小中学校の集約化が必要となることや高齢者の見守り活動、相互扶助などコミュニティ活動が弱まったり、空き家・空き地・耕作放棄地が増加し、地域の景観や住環境の悪化も進むことが予想されます。

このことから目をそらしてはいけません。このままの人口推計を是認してはいけないと思います。この現実を容認しながら、これらの様々な課題解決に向け、責任世代である私たちが、次の世代のために、人口減少の中でも小さなお子様から御年配の方々まで、誰もが住み慣れた地域で、幸福で楽しい充実した人生を歩めるよう、夢を持ち、生きがいを感じられるまちを目指していきたくと決意しております。

「第2期人口ビジョン・総合戦略」を昨年3月策定しました。人口減少の減少幅を少しでも抑制していくことが、この戦略の大きな目標であります。令和3～7年度までの5年間で68の具体的なプロジェクトを積み上げ、560人の人口増加を目指すというものであります。また、「行財政経営計画」を昨年2月に策定し、厳しい財政状況の中、持続できる江田島市の基盤づくりに取り組んでいます。

「アクセルを踏みながら、ブレーキも踏んでいる」と表現されるかもしれません。しかしながら、今ある人材と財源で、総合戦略や行財政経営計画に基づき、市民の皆様や議員の皆様が一緒になって、この現状を踏まえ、より良い江田島市を目指すため、全力を尽くしてまいります。

「あとから来る者のために」

あとから来る者のために

田畑を耕し

種を用意しておくのだ

山を

川を

海を

きれいにしておくのだ

ああ

あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分でできる
なにかをしてゆくのだ
(坂村真民一日一詩366 致知出版)

令和4年が大きな災害や事故がないこと、新型コロナウイルス感染が収束すること、市民の皆様にとって、輝かしい、また、意義深い一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。